

| | |
|------|----|
| 施策番号 | 18 |
|------|----|

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

| | | |
|--------------|--|------|
| 基本政策 | 4 | 生活基盤 |
| 施策名 | 18 | 生活環境 |
| 10年後のまちの姿 | ○環境への負荷の少ない生活や環境影響に十分配慮された企業活動が地域内に浸透しています。 ○ゼロエミッションを目指した資源循環型社会が実現しています。 | |
| 施策展開の基本的な考え方 | 行政は、生活環境の常時監視を行い良好な生活環境維持に努め、併せて必要な開発活動を行います。 市民等は、生活環境に対する意識を高め、ルールやマナーを守った生活、事業活動に努めます。 | |
| 実現に向けた取組 | ①快適な生活環境の保全 ②廃棄物の減量化、資源化の推進 ③きれいで安全な水環境の再生 ④環境美化活動の推進 | |
| 施策担当課・係 | 市民生活課 生活環境係 | |
| 施策関係課・係 | 上下水道課 下水道係 | |

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|
| 事業費（千円） | 1,262,364 | 1,393,597 | 1,193,198 | | |
| 事務事業数 | 15 | 14 | 12 | | |
| うち、事務事業評価対象 | 13 | 13 | 11 | | |

2 成果指標の達成状況

| 指標 | 単位 | 基準値 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和3年度 中間目標 | 令和8年度 最終目標 |
|-------------------|-------|------|--------|--------|-------|-------|-------|---------------|---------------|
| 畜産臭気基準を超過した事業場の割合 | % | 40 | 33 | 26 | 21 | | | 20 | 0 |
| 一人当たりごみ排出量（一般家庭） | g/人・日 | 692 | 673 | 662 | 669 | | | 680 | 666 |
| 下水道接続率 | % | 72.4 | 74.2 | 74.8 | 77.0 | | | 74.1 | 75.7 |
| 管理不全空き家数 | 軒 | 346 | 344 | 333 | 330 | | | 338 | 329 |

3 施策の進捗状況

| | |
|-------------|--|
| 達成度 | ○ 概ね順調 |
| 達成度の判断根拠 | 中間目標値に対し畜産臭気基準はクリアできなかったものの、他の項目はクリアしている。 |
| 成果指標による現状分析 | 畜産臭気基準についての成果指標については、中間目標に近づいているが、畜産事業所の周辺地区の住民からの悪臭に関する苦情については、まだまだ多く寄せられている。また、臭気チェックモニターの状況から地区の臭気に対する生活環境の影響は大きいと考えている。管理不全空き家数については、平成27年度の空き家調査の結果数値を基準値とし、その数値による目標を設定しているが、令和2年に空き家調査を行い、その結果を踏まえて対策や目標の再設定が必要であると考えている。 |

4 取組の状況と今後の方向性

① 快適な生活環境の保全

| 施策の内容 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">畜産事業所等からの臭気の低減策を促すとともに、築地・乙地区の地域環境衛生協議会等と連携して臭気低減に取り組みます。県や関係機関と連携して大気汚染物質の排出にかかる監視等を継続して実施します。 |
| これまでの主な取組と実績 |
| <ul style="list-style-type: none">畜産臭気対策として、地域の臭気モニターを2名追加し、生活環境に与える影響の監視強化を図った。畜産事業場の臭気測定を実施し、基準超過事業場に対しては、対策計画の報告及び改善対策後の臭気低減を確認した。畜産事業場の周辺地区住民で構成する環境衛生団体に、畜産事業者に対する市の悪臭対策を説明し、行政と地域で連携を図りながら臭気対策を進めることを確認した。環境保全対策の連携をしている企業から、臭気対策の事例について情報提供を受け、畜産事業所に臭気対策事例の説明会を開催し、1事業所が実践している。 |
| 主な課題と今後の対応 |
| <p>畜産臭気対策として、基準値を超過した畜産事業所は減少したが、地域の臭気モニターにより、生活環境に与える影響があることから、基準値を超過した事業をなくすための対策を図る。</p> <ul style="list-style-type: none">行政と地域で連携を密にし、監視を強化する。畜産事業所で臭気対策が不十分な場合には、指導、命令、勧告等により対応を強化する。 |

② 廃棄物の減量化、資源化の推進

| 施策の内容 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">関係市町村と協力した廃棄物の適正処理を継続するとともに、5Rを理念としたごみの減量資源化に向けて市民等への啓発を一層推進します。ごみ回収時の市民の負担軽減のため、ごみステーションの設置箇所の拡大を図ります。 |
| これまでの主な取組と実績 |
| <ul style="list-style-type: none">新発田広域事務組合及び新発田市と協議し、蛍光管のリサイクル回収・水銀の安全回収をするため、平成30年度に拠点回収を始めることを確認した。(H29.10より蛍光管のリサイクル回収を始めている。)家庭ごみの排出方法の周知及びリサイクル促進のため、家庭ごみ収集カレンダーの作成及び配布を行い、ホームページやSNSでもごみの分別や排出方法について周知、啓発を図った。厨芥類のごみ減少のため、食品ロス削減運動(3010運動)を実施。市報、ホームページ及びSNSを利用した啓発をするとともに、食品ロス削減に対する意識調査をした。 |
| 主な課題と今後の対応 |
| <p>第2次一般廃棄物処理基本計画を策定し、今後10年間の目標と方針を定めた。</p> <ul style="list-style-type: none">ごみの減量化の推進資源化の推進安定的かつ効率的な処理体制の整備 |

③ きれいで安全な水環境の再生

| 施策の内容 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 県や関係機関と連携して新たな汚染の防止に向けた事業所等への監督・指導を実施します。 ・ 下水道への接続と正しい利用に関する啓発を進めるとともに、補助制度等の活用をPRし、接続率の向上を図ります。 ・ し尿等下水道投入施設の維持管理を適切に行い、施設の安定稼働を推進していきます。 |
| これまでの主な取組と実績 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区で構成する環境衛生団体から情報提供を受け、事業所排水の確認を実施し、指導・助言により改善対策を確認した。 ・ 市報「たいない」へ下水道に関する情報を掲載し、下水道の必要性について啓発を行い接続率の向上を図った。また、公共下水道事業については、新発田市との汚泥処理の共同化やし尿投入施設の維持管理を併せた包括的民間委託を導入済みである。 |
| 主な課題と今後の対応 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道施設の老朽化が進んでおり、修繕・更新の費用が多額になってきている。今後は補助金を効率よく活用し、修繕・更新を行う。 ・ 更なる経費削減を図るため、国から示されている方向性のもと更なる効率化を目指し、隣接市村との施設の広域化及び処理区域の広域化について検討する。 ・ し尿処理事業は縮小傾向にあることから、胎内市清掃センターの最終処分場を廃止し解体した。 ・ し尿等下水道投入施設が稼働したことから、稼働状況から効率的かつ効果的な維持管理となっているかを検証することにより、安定的な稼働を目指していく。 |

④ 環境美化活動の推進

| 施策の内容 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 胎内市住みよい郷土づくり協議会や地域の子ども会、老人クラブ、各集落や社会福祉協議会等との協働によりクリーン作戦やパトロールの実施、不法投棄防止看板の設置を推進します。 ・ 廃屋や荒地をできるだけ発生させないように、空き地や空き家を早期に発見し、空家等対策推進に関する特別措置法および関係条例に基づく対策を実施します。 |
| これまでの主な取組と実績 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 海岸・河川の環境パトロールを胎内市住みよい郷土づくり協議会と実施し、関係管理部署に環境改善の要望や意見交換を行った。また、不法投棄や海岸漂着物回収のためクリーン作戦を実施し、海岸・河川の環境美化が図られた。 ・ 空き家対策協議会を設置し、同協議会において「空き家対策計画」を策定し、空き家対策の方向性や総合的な対策について確認でき、関係機関との連携を図ることができた。 |
| 主な課題と今後の対応 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年実施しているクリーン作戦等により、市民の環境美化への意識が高まってきたと感じられる。不法投棄物の発見数及び量から減少傾向にあると推察されるが、未だ後を絶たない。警察等の関係機関や市民団体等と連携をとり監視強化を図る。 ・ 少子高齢化が進む中、空き家問題が生活環境に悪影響を及ぼすことが予想され、その対策の拡充が必要不可欠である。的確な現状を把握し予防と適正な管理の推進を行い、空き家となっている居住家屋に対し、利活用の推進を促していく。また、老朽化した危険家屋に対しては、所有者に危険を解消するよう強く促していく。 |

5 施策の今後の方針

| 施策方針 | ○ 維持 |
|------------|--|
| 施策方針に関する説明 | <p>空き家等の対策として「空き家対策計画」に基づき、空き家の現状把握を行い、データベース化により空き家の予防及び抑止につなげていく。また、予防対策の相談体制窓口の充実、空き家等対策関係者との連携及び空き家等の所有者へ適正管理の周知等の取組等を行うとともに、空き家等の活用や危険空き家の措置を行う。</p> <p>事業所に対し臭気対策を強く促すためには、客観的な数値や証明・証拠が必要であるため、臭気測定を年1回から複数回、時間帯を考慮しながら実施し、臭気チェックモニター結果等や総合的な判断により、臭気対策がきわめて不十分な事業所には、抜本的な臭気対策として、施設改善や事業の縮小等を視野に入れ、強く指導等を実施していく。</p> |

II 施策を構成する事業等

| 事業 コード | 事務事業名 | R1 | | R2 | | 達成度 | 施策目標 に対する 貢献 | 一次評価 今後の 方向性 | 二次評価 今後の 方向性 | 主な事業 | 担当課 |
|-----------|--------------------------|---------|------------|---------|------------|-----|--------------------|--------------------|--------------------|------|-------|
| | | 事業費 | うち 一般財源 | 当初予算額 | うち 一般財源 | | | | | | |
| 420110 | 公害対策事業 | 4,496 | 4,496 | 4,806 | 4,806 | △ | ○ | ① | ② | | 市民生活課 |
| 420211 | ごみ処理事業 | 144,967 | 92,051 | 140,911 | 88,888 | ◎ | ○ | ② | ② | | 市民生活課 |
| 420212 | ごみの減量対策事業 | 36,337 | 31,534 | 38,626 | 32,626 | △ | ○ | ② | ③ | | 市民生活課 |
| 420311 | し尿処理事業 | 67,195 | 52,647 | 75,793 | 58,657 | ◎ | ○ | ③ | ③ | ○ | 市民生活課 |
| 420312 | 胎内市清掃センター事業 | 373,779 | 41,417 | 9,230 | 3,740 | ◎ | ○ | ⑦ | ⑦ | | 市民生活課 |
| 420320 | 公共下水道施設維持管理事業〔公共下水道事業会計〕 | 267,433 | 180,233 | 255,787 | 181,287 | ◎ | ○ | ③ | ③ | ○ | 上下水道課 |
| 420331 | 維持管理事業〔農業集落排水事業特別会計〕 | 184,431 | 86,371 | 248,809 | 104,109 | ◎ | ○ | ③ | ③ | ○ | 上下水道課 |
| 420410 | 環境整備事業(不法投棄防止対策) | 11,621 | 11,621 | 17,512 | 17,512 | ○ | △ | ③ | ③ | | 市民生活課 |
| 420410 | 環境整備事業(省エネルギー対策) | 0 | 0 | 0 | 0 | ◎ | ○ | ③ | ③ | | 市民生活課 |
| 420411 | 一般経費環境衛生(市営船戸霊園) | 0 | 0 | 0 | 0 | ○ | ○ | ③ | ③ | | 市民生活課 |
| 420411 | 一般経費環境衛生(狂犬病予防) | 218 | 0 | 242 | 0 | ○ | ○ | ③ | ③ | | 市民生活課 |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | |
|-------|-----------|------|-------|-------|------|---------------------------------|------|----------|
| 事業コード | 420110 | | 担当課 | 市民生活課 | 担当係 | 生活環境係 | | |
| 事務事業名 | 公害対策事業 | | 事業年度 | 令和2年度 | | 会計区分 | 一般会計 | |
| 基本政策 | 4 | 生活基盤 | 事業コード | 大 | 42 | 生活環境 | 款 | 04 衛生費 |
| 施策 | 18 | 生活環境 | | 中 | 01 | 快適な生活環境の保全 | 項 | 01 保健衛生費 |
| | | | | 小 | 10 | 公害対策事業 | 目 | 05 環境衛生費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | 自治事務 | ○ | 根拠法令 | 環境基本法、水質汚濁防止法、悪臭防止法、騒音防止法、振動防止法 | | |
| | 法令による義務付け | | 義務 | | 関連条例 | | 関連計画 | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・概要 | 地下水・事業所排水・中小河川の水質検査により水環境を監視、畜産事業所への悪臭防止策の指導助言、高速道路や一般道の騒音状況の把握、関連機関への要望等を通じ生活環境の保全を図る。 |
| 主な実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> 観測井戸（砒素）の水質検査（6回） 船戸周辺地下水調査（2回） 事業所（ゴルフ場）排水水質検査（6回） 中小河川水質検査（12回） 畜産臭気測定（午前実施1回、夕刻実施1回） 高速道路・一般道の騒音測定（2回） 特定地区3年毎の地下水調査（1回） |
| 実施方法 | 市が直接実施＋委託 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------|--|--------|-------|-------|-------|
| 総事業費（千円） | 4,583 | 5,374 | 4,496 | 4,806 | |
| 国・県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 一般財源 | 4,583 | 5,374 | 4,496 | 4,806 | |
| 人件費（千円） | 166 | 167 | 171 | | |
| 正（h）※事業費 | 90 | 90 | 90 | | |
| 臨時（h）※事業費 | 0 | 0 | 0 | | |
| 総事業費＋人件費 | 4,749 | 5,541 | 4,667 | | |
| 財源「その他」内訳 | 水質検査手数料 1,288千円 臭気測定業務委託 1,361千円 自動車騒音常時監視委託 495千円 畜産臭気モニタリング 1,260千円 | | | | |

3 指標値の状況

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 産出指標 | 名称 | 年間検査実施回数 | 年間検査実施回数 | 年間検査実施回数 | 年間検査実施回数 | 年間検査実施回数 |
| | 目標 | 28回 | 26回 | 28回 | 28回 | 28回 |
| | 実績 | 28回 | 29回 | 31回 | | |
| 成果指標 | 名称 | 環境基準達成割合 | 環境基準達成割合 | 環境基準達成割合 | 環境基準達成割合 | 環境基準達成割合 |
| | 目標 | 75% | 85% | 80% | 80% | 80% |
| | 実績 | 81% | 75% | 76% | | |
| | 目標比 | 108.0% | 88.2% | 95.0% | | |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|--|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ◎ | △ | △ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 畜産臭気測定において、事業場に対し時間を分けて複数回の測定を実施した結果、環境基準値を超過した事業場が多くあったため目標の達成には至らなかった。また、中小河川水質検査では、年間を通じ基準値を超過した河川があり目標を下回った。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | |
|--|---|---------------------------------|
| 妥当性 | 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | ○ |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | ○ |
| | 類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある | ○ |
| 住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | 一部実施 | |
| | 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | 実施 |
| 協働または民間への外部化が不可能な理由 | | |
| | | |
| 効率性 | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | ○ |
| | 事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | ○ |
| | 受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | - |
| 単位コスト | 算出方法 | |
| | 実績 | 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

畜産臭気の状態について、夕方に強い畜産の悪臭があると地区住民より情報があったことから、畜産臭気測定の時間帯を追加実施した。各時間帯のいずれかが、環境基準値を超過した事業所へは、改善計画を求めるとともに、確実な臭気対策を事業所に促し、改善されない場合には不履行とみなし、指導、勧告等の厳しい措置を視野に入れ対応した。

7 事業の方向性（案）

| | |
|--------------------|--|
| 今後の方向性 | ① |
| 課題 改善後の方 法対応 | 公害防止対策として実施している騒音、事業所排水における環境基準は正常であるが、水質検査のうち地下水、中小河川の検査において基準値を満たしていない。 悪臭対策として、臭気チェックモニターを畜産臭気に関する地区に設置しているが、報告より改善されている状況になく、市民生活に与える影響は未だ大きいと考えている。 事業所に対し臭気対策を強く促すためには、客観的な数値や証明・証拠が必要であるため、臭気測定を年1回から複数回、時間帯を考慮しながら実施していく。 その結果や総合的な判断により、臭気対策がきわめて不十分な事業所には、抜本的な臭気対策として、施設改善や事業の縮小等を視野に入れ、強く指導等を実施していく。 |

8 二次評価

| | | | | | |
|-----------|------------------|----|----|----|----|
| 今後の方向性 | ② | | | | |
| 所見 | 臭気測定を実施する回数を増やす。 | | | | |
| 成果の方向性 | 拡充 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 維持 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 縮小 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 休廃止 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 削減 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| コスト投入の方向性 | | 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|------|-------|-------|---------------------|----------------|------|------------------------|----|-------|
| 事業コード | 420211 | | 担当課 | 市民生活課 | 担当係 | 生活環境係 | | | | |
| 事務事業名 | ごみ処理事業 | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 一般会計 | | | |
| 基本政策 | 4 | 生活基盤 | 事業コード | 大 | 42 | 生活環境 | 予算科目 | 款 | 04 | 衛生費 |
| 施策 | 18 | 生活環境 | | 中 | 02 | 廃棄物の減量化、資源化の推進 | | 項 | 02 | 清掃費 |
| | | | | 小 | 11 | ごみ処理事業 | | 目 | 02 | 塵芥処理費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | ○ | 根拠法令 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | | | | | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | 胎内市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 | | 関連計画 | 第2次一般廃棄物処理計画、胎内市環境基本計画 | | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|--|
| 事業の目的・概要 | ごみ処理を定期的に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、一般廃棄（ごみ）物処理計画に基づく対策を行う。 |
| 主な実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> ごみの収集運搬業務委託（可燃、不燃、粗大、生ごみ） ごみ袋、粗大ごみシール作成 ごみステーション設置、移動受付 一般廃棄物処理許可等の管理（17件） ごみ収集カレンダー作成 |
| 実施方法 | 市が直接実施＋委託 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|--|---------|---------|---------|-------|
| 総事業費（千円） | 134,142 | 135,041 | 144,967 | 140,911 | |
| 国・県支出金 | 0 | 0 | 0 | 315 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 50,562 | 50,110 | 52,916 | 51,708 | |
| 一般財源 | 83,580 | 84,931 | 92,051 | 88,888 | |
| 人件費（千円） | 376 | 0 | 380 | | |
| 正(h) ※事業費 | 204 | 0 | 200 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 0 | 0 | 0 | | |
| 総事業費＋人件費 | 134,518 | 135,041 | 145,347 | | |
| 財源「その他」内訳 | ごみ処理手数料 52,644千円 海岸漂着物対策補助金 272千円 | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | 可燃ごみ等収集業務委託 112,940千円 指定ごみ袋製造委託 14,626千円 ほか | | | | |

3 指標値の状況

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 産出指標 | 名称 | 年間ごみ総排出量 | 年間ごみ総排出量 | 年間ごみ総排出量 | 年間ごみ総排出量 | 年間ごみ総排出量 |
| | 目標 | 7,535t | 7,442t | 7,376t | 7,273t | 7,195t |
| | 実績 | 7,269t | 7,016t | 6,992t | | |
| 成果指標 | 名称 | 1人1日当たりのごみ量 | 1人1日当たりのごみ量 | 1人1日当たりのごみ量 | 1人1日当たりのごみ量 | 1人1日当たりのごみ量 |
| | 目標 | 692g/人・日 | 689g/人・日 | 686g/人・日 | 683g/人・日 | 680g/人・日 |
| | 実績 | 673g/人・日 | 659g/人・日 | 664g/人・日 | | |
| | 目標比 | - | - | - | | |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|--|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ◎ | ◎ | ◎ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 市民のごみに対する適正排出や適正分別の意識が高まったことにより、目標を達成した。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | |
|--|---|----|
| 妥当性 | 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | ○ |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | ○ |
| | 類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある | × |
| 住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | 住民等の参画、協働は可能か | △ |
| | 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | 実施 |
| 効率性 | 協働または民間への外部化が不可能な理由 | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | △ |
| | 事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | ○ |
| 単位コスト | 受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | ○ |
| | 算出方法 | |
| 実績 | 平成29年度 | |
| | 平成30年度 | |
| | 令和元年度 | |
| | 令和2年度 | |
| | 令和3年度 | |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

ごみの減量化・再資源化の推進のために、ごみ収集カレンダー変更によりごみの分別区分と排出方法がより分かりやすく、かつ見やすくする工夫をした。このことにより、ごみの排出による問い合わせ件数が減少し、ごみの分別化の徹底が図られた。

7 事業の方向性（案）

| | |
|-------------|--|
| 今後の方向性 | ② |
| 課題及び今後の対応方法 | <ul style="list-style-type: none"> 家庭系ごみの処理量については、年々減少しているものの、減少率は少なく、更なるごみの減量化や再資源化を図る必要があり、ごみの分別品目を増やすなど検討していく。 事業系ごみの処理量については、増加傾向にあるため、適正な分別及び排出を促していく必要がある。 |

8 二次評価

| | | | | |
|--------|-----------|----|----|----|
| 今後の方向性 | ② | | | |
| 所見 | 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 |
| | コスト投入の方向性 | | | |

| | | | | |
|--------|-----|---|---|---|
| 成果の方向性 | 拡充 | ④ | ② | ① |
| | 維持 | ⑤ | ③ | |
| | 縮小 | ⑥ | | |
| | 休廃止 | ⑦ | | |
| | 削減 | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|------|-------|-------|---------------------|----------------|------|---------------------|----|-------|
| 事業コード | 420212 | | 担当課 | 市民生活課 | 担当係 | 生活環境係 | | | | |
| 事務事業名 | ごみの減量対策事業 | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 一般会計 | | | |
| 基本政策 | 4 | 生活基盤 | 事業コード | 大 | 42 | 生活環境 | 予算科目 | 款 | 04 | 衛生費 |
| 施策 | 18 | 生活環境 | | 中 | 02 | 廃棄物の減量化、資源化の推進 | | 項 | 02 | 清掃費 |
| | | | | 小 | 12 | ごみの減量対策事業 | | 目 | 02 | 塵芥処理費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | ○ | 根拠法令 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | | | | | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | 胎内市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 | | 関連計画 | 胎内市分別収集計画、胎内市環境基本計画 | | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・概要 | 廃棄物の再生利用を促進及びごみの発生抑制のため、分別収集計画に基づく対策を行う。 |
| 主な実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> 生ごみ処理機器購入補助金の交付（10件） 廃品回収奨励金の交付（34件） 資源ごみ収集運搬 |
| 実施方法 | 市が直接実施＋委託＋補助・負担 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|-----------------|--------|--------|--------|-------|
| 総事業費（千円） | 35,829 | 36,897 | 36,337 | 38,626 | |
| 国・県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 10,068 | 4,113 | 4,803 | 6,000 | |
| 一般財源 | 25,761 | 32,784 | 31,534 | 32,626 | |
| 人件費（千円） | 140 | 0 | 190 | | |
| 正(h) ※事業費 | 76 | 0 | 100 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 0 | 0 | 0 | | |
| 総事業費＋人件費 | 35,969 | 36,897 | 36,527 | | |
| 財源「その他」内訳 | 資源物売却代 4,803千円 | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | 分別収集委託 32,695千円 | | | | |

3 指標値の状況

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 産出指標 | 名称 | 年間ごみの資源化量 | 年間ごみの資源化量 | 年間ごみの資源化量 | 年間ごみの資源化量 | 年間ごみの資源化量 |
| | 目標 | 1,655t | 1,650t | 1,650t | 1,642t | 1,639t |
| | 実績 | 1,409t | 1,274t | 1,148t | | |
| 成果指標 | 名称 | 資源化率 | 資源化率 | 資源化率 | 資源化率 | 資源化率 |
| | 目標 | 22.0% | 22.2% | 22.4% | 22.6% | 22.8% |
| | 実績 | 19.4% | 18.2% | 16.4% | | |
| | 目標比 | 88.1% | 81.8% | 73.3% | | |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|---|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ○ | ○ | △ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判明理由 | ごみの総排出量に対して、資源化が可能な紙類がペーパーレス化の浸透により収集量が減少し、やや目標値に対して低く推移している。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | | | | | |
|----------------------------|--|--------|--------|-------|-------|-------|
| 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか | ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | ○ | | | | |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか | ○ | | | | |
| | ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | | | | | |
| 類似した事業が実施されていないか | ○：類似事業がない ×：類似事業がある | × | | | | |
| | 住民等の参画、協働は可能か | △ | | | | |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | | |
| 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | 実施 | | | | |
| | 協働または民間への外部化が不可能な理由 | | | | | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か | △ | | | | |
| 事業費や人件費に削減の余地はないか | ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | | | | | |
| | ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | ○ | | | | |
| | 受益者負担は事業コストに対して適正か | - | | | | |
| 効率性 | ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | | | | | |
| | 単位コスト | 算出方法 | 実績 | | | |
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

食品ロス削減を市報等に掲載することで市民への啓発が図られた。資源ごみの拠点回収を実施している小型家電や蛍光灯等については、多くの回収量があることから、市民に拠点回収を実施していることが周知されていると考えられる。

7 事業の方向性（案）

| | |
|------------|---|
| 今後の方向性 | ② |
| 課題及び改善後の対応 | 品目の細分化による収集コストや処理コストのバランスを取りながら資源化できるごみは資源化する方向で、検討する。分別の徹底は、家庭だけでなく、事業所のごみも同様であることから周知を徹底していく。 |

8 二次評価

| | |
|--------|---|
| 今後の方向性 | ③ |
| 所見 | |

| | | 今後の方向性 | | | |
|-----------|-----|--------|----|----|----|
| 成果の方向性 | 拡充 | × | ④ | ② | ① |
| | 維持 | × | ⑤ | ③ | × |
| | 縮小 | × | ⑥ | × | × |
| | 休廃止 | ⑦ | × | × | × |
| | | 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 |
| コスト投入の方向性 | | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | |
|-------|-----------|------|-------|-------|-----------------------|---------------|------|-------------|
| 事業コード | 420311 | | 担当課 | 市民生活課 | 担当係 | 生活環境係 | | |
| 事務事業名 | し尿処理事業 | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 一般会計 | |
| 基本政策 | 4 | 生活基盤 | 事業コード | 大 | 42 | 生活環境 | 款 | 04 衛生費 |
| 施策 | 18 | 生活環境 | | 中 | 03 | きれいで安全な水環境の再生 | 項 | 02 清掃費 |
| | | | | 小 | 11 | し尿処理事業 | 目 | 03 し尿処理費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | ○ | 根拠法令 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法 | | | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | 胎内市環境基本計画 | | 関連計画 | 胎内市清掃センター事業 |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|--|
| 事業の目的・概要 | <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、し尿処理の収集運搬と、し尿処理手数料を徴収する。 し尿等下水道投入施設でし尿、浄化槽汚泥の処理を行う。施設稼働により、施設の運転維持管理を行う。</p> |
| 主な実施内容 | <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理業の資格を持った事業所と委託契約し、し尿の収集運搬を行い、受益者からし尿処理手数料の徴収を行っている。</p> <p>し尿、浄化槽汚泥の処理。施設の運転管理。 下水道へ放流するための共同処理負担金。</p> |
| 実施方法 | 市が直接実施+委託 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|---|--------|--------|--------|-------|
| 総事業費（千円） | 48,495 | 46,580 | 67,195 | 75,793 | |
| 国・県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 17,225 | 15,717 | 14,548 | 17,136 | |
| 一般財源 | 31,270 | 30,863 | 52,647 | 58,657 | |
| 人件費（千円） | 828 | 835 | 1,519 | | |
| 正(h) ※事業費 | 450 | 450 | 800 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 0 | 0 | 0 | | |
| 総事業費+人件費 | 49,323 | 47,415 | 68,714 | | |
| 財源「その他」内訳 | し尿処理手数料 14,548千円 | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | し尿収集業務委託料 44,734千円、施設維持管理業務委託料 7,957千円、下水道共同処理負担金 10,496千円、通信運搬費等 445千円 | | | | |

3 指標値の状況

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|
| 産出指標 | 名称 | 年間収集量 | 年間収集量 | 年間収集量 | 年間収集量 | 年間収集量 |
| | 目標 | 4,526kl | 4,000kl | 1,960kl | 1,843kl | 1,665kl |
| | 実績 | 1,998kl | 1,893kl | 1,634kl | | |
| 成果指標 | 名称 | し尿処理率 | し尿処理率 | し尿処理率 | し尿処理率 | し尿処理率 |
| | 目標 | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% |
| | 実績 | 100% | 100% | 100% | | |
| | 目標比 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 0.0% | 0.0% |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|--|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ◎ | ◎ | ◎ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 公共下水道や農業集落排水への切り替えや、合併浄化槽を設置したりする戸数が増加しているため、し尿処理量は減少傾向にあるが、し尿汲取り戸数がなくなることはないため、今後も必要な事業である。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | |
|----------------------------|--|---------------------------------|
| 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか | ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | ○ |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか | ○ |
| | ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | |
| 類似した事業が実施されていないか | ○：類似事業がない ×：類似事業がある | × |
| | 住民等の参画、協働は可能か | × |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | |
| 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | 実施 |
| | 協働または民間への外部化が不可能な理由 | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か | ○ |
| 事業費や人件費に削減の余地はないか | ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | ○ |
| | ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | |
| | 受益者負担は事業コストに対して適正か | ○ |
| 効率性 | ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | |
| | 単位コスト | 算出方法 |
| | 実績 | 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

新たなし尿処理施設の建設と稼働のための準備（し尿等回収事業者への利用方法の説明、運営維持管理業の選定等が計画通りに完了した。稼働については、一部設備に不具合が出たものの、し尿等の受け入れは問題なく実施した。また、運営や維持管理についても運転マニュアルに沿って実施できている。

7 事業の方向性（案）

| | |
|-------------|--|
| 今後の方向性 | ③ |
| 課題及び今後の改善方法 | <p>汲取り式トイレの世帯は、生活雑排水を地下浸透や河川放流により処理してきたが、それが水質汚濁の一つの原因となっていた。衛生的できれいな水環境を確保していくには、汲取り式トイレから下水道や浄化槽に切り替えていくことが必要である。この切り替えをどう進めていくかが今後の課題である。</p> <p>し尿等投入施設に維持については、継続的に経費が掛かるため、日常点検や、定期点検などを確実に実施し、予防保全に努めることで急な修繕等による経費の増大などが発生しないようにしなければならない。また中長期的な保全計画を作成し、計画的に修繕を行えるようにすることが必要である。</p> |

8 二次評価

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---|----|---|---|---|----|---|---|--|----|---|--|--|-----|---|--|--|----|--|--|--|----|--|--|--|----|--|--|--|----|--|--|--|
| 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 所見 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 今後の方向性 | <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 拡充 | ④ | ② | ① | 維持 | ⑤ | ③ | | 縮小 | ⑥ | | | 休廃止 | ⑦ | | | 削減 | | | | 縮小 | | | | 維持 | | | | 拡大 | | | |
| 拡充 | ④ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 維持 | ⑤ | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 縮小 | ⑥ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 休廃止 | ⑦ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 削減 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 縮小 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 維持 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 拡大 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コスト投入の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | | | |
|-------|-------------|------|-------|-------|------------------|---------------|-----------|---|----|-----|
| 事業コード | 420312 | | 担当課 | 市民生活課 | 担当係 | 生活環境係 | | | | |
| 事務事業名 | 胎内市清掃センター事業 | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 一般会計 | | | |
| 基本政策 | 4 | 生活基盤 | 事業コード | 大 | 42 | 生活環境 | 予算科目 | | | |
| 施策 | 18 | 生活環境 | | 中 | 03 | きれいで安全な水環境の再生 | | 款 | 04 | 衛生費 |
| | | | | 小 | 12 | 胎内市清掃センター事業 | | 項 | 02 | 清掃費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | 〇 | 根拠法令 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | | | | | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | 胎内市清掃センター条例 | 関連計画 | 胎内市環境基本計画 | | | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|--|
| 事業の目的・概要 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、収集運搬されたし尿及び浄化槽汚泥の受入れ及び最終処理を行っていた施設の解体を行う。 |
| 主な実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> 〇解体工事 〇解体工事前清掃業務委託 〇残渣処理業務委託 〇関係団体連絡調整 構成団体の村上市、関川村より負担金を徴収。関係市村担当課長会議を開催し、し尿処理に関する事務委託について調整を行う。 |
| 実施方法 | 市が直接実施+委託 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|--|---------|---------|-------|-------|
| 総事業費（千円） | 187,822 | 153,187 | 373,779 | 9,230 | |
| 国・県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 55,390 | 55,956 | 332,362 | 5,490 | |
| 一般財源 | 132,432 | 97,231 | 41,417 | 3,740 | |
| 人件費（千円） | 4,234 | 2,784 | 4,748 | | |
| 正(h) ※事業費 | 2,300 | 1,500 | 2,500 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 0 | 0 | 0 | | |
| 総事業費+人件費 | 192,056 | 155,971 | 378,527 | | |
| 財源「その他」内訳 | 胎内市清掃センター構成団体負担金 2,782千円 し尿処理施設運営事業基金繰入金 329,580千円 | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | 解体工事 219,313千円 清掃業務委託 84,153千円 工事監理業務委託 5,830千円 残渣処理業務委託 10,896千円 | | | | |

3 指標値の状況

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | |
|------|--------|----------------|----------------|--------|-------|---|
| 産出指標 | 名称 | 年間し尿及び浄化槽汚泥収集量 | 年間し尿及び浄化槽汚泥収集量 | 解体工事 | - | - |
| | 目標 | 8,500kl | 8,000kl | 着手 | - | - |
| | 実績 | 10,633kl | 10,342kl | | | |
| 成果指標 | 名称 | し尿及び浄化槽汚泥処理率 | し尿及び浄化槽汚泥処理率 | 解体進捗率 | - | - |
| | 目標 | 100% | 100% | 100% | - | - |
| | 実績 | 100% | 100% | 100% | | |
| | 目標比 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | |

4 達成度

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|-------------------------|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ◎ | ◎ | ◎ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 解体工事が完了し、土地所有者へ土地を返却した。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | |
|-------|--|----|
| 妥当性 | 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか | 〇 |
| | 〇：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか | 〇 |
| 実施 | 〇：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | |
| | 類似した事業が実施されていないか | × |
| | 〇：類似事業がない ×：類似事業がある | |
| 実施 | 住民等の参画、協働は可能か | × |
| | 〇：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | |
| | 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か | 実施 |
| 効率性 | 〇：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | |
| | 協働または民間への外部化が不可能な理由 | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か | △ |
| 効率性 | 〇：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | |
| | 事業費や人件費に削減の余地はないか | △ |
| | 〇：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | |
| 単位コスト | 受益者負担は事業コストに対して適正か | 〇 |
| | 〇：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | |
| | 算出方法 | |
| 実績 | 平成29年度 | |
| | 平成30年度 | |
| 実績 | 令和元年度 | |
| | 令和2年度 | |
| 実績 | 令和3年度 | |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

事業の終了及び施設の解体経費は、構成市村からの負担金による基金で完了した。
 終了処理及び解体工事は、施設で処理する廃棄物の残渣や設備清掃で排出される汚泥の処理を予定通りに完了させ、解体工事ではアスベスト処理、被圧地下水の処理及び基礎杭の撤去等で想定外の工程が発生したが、借地返却を含め年度内に事業を終了することができた。

7 事業の方向性（案）

| | |
|----------------|-------------------|
| 今後の方向性 | ⑦ |
| 課題及び今後の改善方法の対応 | 基金の残高を清算し事業終了とする。 |

8 二次評価

| | |
|--------|---|
| 今後の方向性 | ⑦ |
| 所見 | |

| 今後の方向性 | | | | | |
|-----------|-----|---|---|---|---|
| 成果の方向性 | 拡充 | × | ④ | ② | ① |
| | 維持 | × | ⑤ | ③ | × |
| | 縮小 | × | ⑥ | × | × |
| | 休廃止 | ⑦ | × | × | × |
| コスト投入の方向性 | 削減 | | | | |
| | 縮小 | | | | |
| | 維持 | | | | |
| | 拡大 | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | | |
|-------|--------------------------|------|-------|-------|-------------|---------------|------|--------------|--|
| 事業コード | 420320 | | 担当課 | 上下水道課 | 担当係 | 下水道係 | | | |
| 事務事業名 | 公共下水道施設維持管理事業〔公共下水道事業会計〕 | | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 公共下水道事業会計 | |
| 基本政策 | 4 | 生活基盤 | 事業コード | 大 | 42 | 生活環境 | 予算科目 | 款 | |
| 施策 | 18 | 生活環境 | | 中 | 03 | きれいで安全な水環境の再生 | | 項 | |
| | | | | 小 | 20 | 公共下水道施設維持管理事業 | | 目 | |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | ○ | 根拠法令 | 下水道法 第4条第1項 | | | | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | 胎内市下水道条例 | | 関連計画 | 胎内市公共下水道事業計画 | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|--|
| 事業の目的・概要 | 中条浄化センター及び中継マンホールポンプ場の維持管理を行い、生活環境の保全と公共用水域の水質保全を図る。 |
| 主な実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・処理場の維持管理 ・管渠の維持管理 ・管渠工事 ・施設の更新工事 ・公共樹設置工事 |
| 実施方法 | 市が直接実施＋委託＋補助・負担 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|---|---------|---------|---------|-------|
| 総事業費（千円） | 321,295 | 381,026 | 267,433 | 255,787 | |
| 国・県支出金 | 64,934 | 98,300 | 18,500 | 9,000 | |
| 地方債 | 166,500 | 117,500 | 68,700 | 65,500 | |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 一般財源 | 89,861 | 165,226 | 180,233 | 181,287 | |
| 人件費（千円） | 1,851 | 1,696 | 1,705 | | |
| 正(h) ※事業費 | 914 | 914 | 898 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 202 | 0 | 0 | | |
| 総事業費＋人件費 | 323,146 | 382,722 | 269,138 | | |
| 財源「その他」内訳 | 施設維持管理委託料：146,717千円 動力費：33,970千円 工事費（処理場・管渠）：76,069千円 | | | | |

3 指標値の状況

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|-----|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 産出指標 | 名称 | 有収水量 | 有収水量 | 有収水量 | 有収水量 | 有収水量 |
| | 目標 | 1,626千m ³ /年 | 1,674千m ³ /年 | 1,675千m ³ /年 | 1,677千m ³ /年 | 1,679千m ³ /年 |
| | 実績 | 1,667千m ³ /年 | 1,651千m ³ /年 | 1,644千m ³ /年 | | |
| 成果指標 | 名称 | 接続率 (接続数/接続可能数) 公共樹へース | 接続率 (接続数/接続可能数) 公共樹へース | 接続率 (接続数/接続可能数) 公共樹へース | 接続率 (接続数/接続可能数) 公共樹へース | 接続率 (接続数/接続可能数) 公共樹へース |
| | 目標 | 73.3% | 73.5% | 79.5% | 80.6% | 81.7% |
| | 実績 | 74.2% | 74.8% | 77.0% | | |
| | 目標比 | 101.2% | 101.8% | 96.9% | | |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|--|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ◎ | ◎ | ◎ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 目標値には達しなかったが、伸び率は前年度を大きく上回ったため達成と判定した。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | | | | | |
|-------|--|---------|-----------------------|---------|-------|-------|
| 妥当性 | 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか | ○ | | | | |
| | ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | | | | | |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか | ○ | | | | |
| 妥当性 | ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | | | | | |
| | 類似した事業が実施されていないか | × | | | | |
| | ○：類似事業がない ×：類似事業がある | | | | | |
| 妥当性 | 住民等の参画、協働は可能か | × | | | | |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | | |
| | 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か | 実施 | | | | |
| 妥当性 | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | | |
| | 協働または民間への外部化が不可能な理由 | | | | | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か | ○ | | | | |
| 効率性 | ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | | | | | |
| | 事業費や人件費に削減の余地はないか | △ | | | | |
| | ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | | | | | |
| 効率性 | 受益者負担は事業コストに対して適正か | △ | | | | |
| | ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | | | | | |
| | 単位コスト | 算出方法 | 経常収支比率（経常収益÷経常費用×100） | | | |
| 単位コスト | 実績 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
| | | 123.92% | 122.03% | 122.63% | | |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・処理場の維持管理は、民間業者が創意工夫やノウハウの活用により効率的、効果的に運営を行う包括的民間委託を3年の長期契約により行っている。 ・脱水汚泥の運搬・処分については3年の長期契約を行っている。 |
|--|

7 事業の方向性（案）

| | |
|--------|--|
| 今後の方向性 | ③ |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理が主な事業となっているが、その中でも処理場の機械及び電気設備の老朽化に伴う改築更新が必要で、多額の費用を要することから、効率よく修繕、改築更新を行うため、ストックマネジメント計画に基づき、補助金の交付を受けながら施設の改築更新を行う。 ・施設の維持管理については、し尿投入施設も含め、昨年から3年間の包括的維持管理を行っている。 ・公共樹や蓋の老朽化も進んでおり、交換も必要な時期に来ている。 ・現在、農業集落排水事業と汚泥処理の共同化、新発田市と汚泥の共同処理を行っているが、国から示されている方向性のもと更なる効率化を目指し、隣接市村との施設の広域化及び処理区域の広域化について検討する。 また、令和3年度には、農業集落排水事業の乙処理区及び黒川処理区を公共下水道へ接続する可能性について検討する。 |

8 二次評価

| | | | | | |
|-----------|---|----|----|----|---|
| 今後の方向性 | ③ | | | | |
| 所見 | 公共下水道、農業集落排水、水道の施設の維持管理及び窓口業務の包括委託や、公共下水道と農業集落排水の接続による施設の統廃合等について検討を行う。 | | | | |
| 成果の方向性 | 今後の方向性 | 拡充 | ④ | ② | ① |
| | 維持 | ⑤ | ③ | | |
| | 縮小 | ⑥ | | | |
| | 休廃止 | ⑦ | | | |
| | 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 | |
| コスト投入の方向性 | | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | |
|-------|----------------------|------|-------|-------|-----------------|---------------|---------------|--------------|
| 事業コード | 420331 | | 担当課 | 上下水道課 | 担当係 | 下水道係 | | |
| 事務事業名 | 維持管理事業〔農業集落排水事業特別会計〕 | | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 農業集落排水事業特別会計 |
| 基本政策 | 4 | 生活基盤 | 事業コード | 大 | 42 | 生活環境 | 款 | 01 農業集落排水事業費 |
| 施策 | 18 | 生活環境 | | 中 | 03 | きれいで安全な水環境の再生 | 項 | 01 農業集落排水事業費 |
| | | | | 小 | 31 | 維持管理事業 | 目 | 01 農業集落排水運営費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | ○ | 根拠法令 | 土地改良法 第57条の4第1項 | | | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | 胎内市農業集落排水処理施設条例 | 関連計画 | 胎内市農業集落排水事業計画 | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・概要 | 農業集落排水処理場（乙・黒川・鼓岡・大長谷地区）及び中継マンホールポンプ場の維持管理を行い、生活環境の保全と公共用水域の水質保全を図る。 |
| 主な実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 処理場の維持管理 ・ 管渠の維持管理 ・ 管渠工事 ・ 施設の更新工事 ・ 公共樹設置工事 |
| 実施方法 | 市が直接実施＋委託＋補助・負担 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|--|---------|---------|---------|-------|
| 総事業費（千円） | 188,646 | 117,597 | 184,431 | 248,809 | |
| 国・県支出金 | 43,750 | 9,850 | 42,760 | 69,000 | |
| 地方債 | 46,000 | 4,100 | 55,300 | 74,700 | |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | |
| 一般財源 | 98,896 | 103,647 | 86,371 | 104,109 | |
| 人件費（千円） | 677 | 659 | 663 | | |
| 正(h) ※事業費 | 368 | 355 | 349 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 0 | 0 | 0 | | |
| 総事業費＋人件費 | 189,323 | 118,256 | 185,094 | | |
| 財源「その他」内訳 | 施設維持管理委託料：36,613千円 動力費：32,748千円 工事費（処理場・管渠）：95,823千円 | | | | |

3 指標値の状況

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|-----|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 産出指標 | 名称 | 有収水量 | 有収水量 | 有収水量 | 有収水量 | 有収水量 |
| | 目標 | 706千m ³ /年 | 712千m ³ /年 | 732千m ³ /年 | 730千m ³ /年 | 730千m ³ /年 |
| | 実績 | 737千m ³ /年 | 732千m ³ /年 | 706千m ³ /年 | | |
| 成果指標 | 名称 | 接続率 (接続数/接続可能数) 公共樹へース | 接続率 (接続数/接続可能数) 公共樹へース | 接続率 (接続数/接続可能数) 公共樹へース | 接続率 (接続数/接続可能数) 公共樹へース | 接続率 (接続数/接続可能数) 公共樹へース |
| | 目標 | 71.1% | 71.3% | 72.2% | 72.6% | 73.0% |
| | 実績 | 71.3% | 71.8% | 72.8% | | |
| | 目標比 | 100.3% | 100.7% | 100.8% | | |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|------------|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ◎ | ◎ | ◎ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 目標は達成している。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | | | | | |
|-------|--|--------|-------------------------------|--------|-------|-------|
| 妥当性 | 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか | ○ | | | | |
| | ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | | | | | |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか | ○ | | | | |
| 実施 | ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | | | | | |
| | 類似した事業が実施されていないか | × | | | | |
| | ○：類似事業がない ×：類似事業がある | | | | | |
| 実施 | 住民等の参画、協働は可能か | × | | | | |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | | |
| | 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か | 実施 | | | | |
| 効率性 | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | | |
| | 協働または民間への外部化が不可能な理由 | | | | | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か | ○ | | | | |
| 効率性 | ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | | | | | |
| | 事業費や人件費に削減の余地はないか | ○ | | | | |
| | ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | | | | | |
| 効率性 | 受益者負担は事業コストに対して適正か | △ | | | | |
| | ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | | | | | |
| | 単位コスト | 算出方法 | 収益的収支比率（経収益÷（総費用＋地方債償還金）×100） | | | |
| 単位コスト | 実績 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
| | | 71.50% | 74.56% | 75.51% | | |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

| |
|--|
| ・ 汚泥処理については、中条浄化センターまで持ち込んで処理を行っており、施設の維持管理委託とともに3年の長期契約により民間委託を行っている。 |
|--|

7 事業の方向性（案）

| | |
|-----------|--|
| 今後の方向性 | ③ |
| 課題及び今後の対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の維持管理が主な事業となっているが、その中でもマンホールポンプ場及び処理場の機械設備の老朽化に伴う更新工事が必要で、多額の費用を要することから、農林水産省の補助金を受けながら改築更新を行う。 ・ 維持管理については、昨年から3年間の長期契約を行っている。 ・ 公共樹や蓋の老朽化も進んでおり、交換も必要な時期に来ている。 ・ 現在、公共下水道事業と汚泥処理の共同化を行っているが、国から示されている方向性のもと更なる効率化を目指し、隣接市村との施設の広域化及び処理区域の広域化について検討する。 また、令和3年度には、農業集落排水事業の乙処理区及び黒川処理区を公共下水道へ接続する可能性について検討する。 |

8 二次評価

| 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|--------|----|-----|--|--|----|----|----|-----|--------|---|---|---|--|--|---|---|--|--|--|---|--|--|--|--|---|--|--|--|--|----|----|----|----|-----------|--|--|--|--|
| 所見 | 公共下水道、農業集落排水、水道の施設の維持管理及び窓口業務の包括委託や、公共下水道と農業集落排水の接続による施設の統廃合等について検討を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果の方向性 | <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">今後の方向性</th> </tr> <tr> <th></th> <th>拡充</th> <th>維持</th> <th>縮小</th> <th>休廃止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="5">コスト投入の方向性</td> </tr> </tbody> </table> | 今後の方向性 | | | | | 拡充 | 維持 | 縮小 | 休廃止 | 成果の方向性 | ④ | ② | ① | | | ⑤ | ③ | | | | ⑥ | | | | | ⑦ | | | | | 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 | コスト投入の方向性 | | | | |
| 今後の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 拡充 | 維持 | 縮小 | 休廃止 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果の方向性 | ④ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ⑦ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コスト投入の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | | | |
|-------|------------------|------|-------|-------|---------------------|------------------|------|---|----|-------|
| 事業コード | 420410 | | 担当課 | 市民生活課 | 担当係 | 生活環境係 | | | | |
| 事務事業名 | 環境整備事業（不法投棄防止対策） | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 一般会計 | | | |
| 基本政策 | 4 | 生活基盤 | 事業コード | 大 | 42 | 生活環境 | 予算科目 | 款 | 04 | 衛生費 |
| 施策 | 18 | 生活環境 | | 中 | 04 | 環境美化活動の推進 | | 項 | 01 | 保健衛生費 |
| | | | | 小 | 10 | 環境整備事業（不法投棄防止対策） | | 目 | 05 | 環境衛生費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | 〇 | 根拠法令 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | | | | | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | 胎内市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 | | 関連計画 | | | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・概要 | 生活環境及び公衆衛生の向上のため、不法投棄防止対策を行う。 |
| 主な実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> 環境パトロール及び不法投棄物回収（不法投棄回収量30,490kg） 市民向け啓発用市報の掲載 住みよい郷土づくり協議会との協働（不法投棄防止看板の作成、クリーン作戦、パトロールなど） ボランティアによるごみ拾い用ごみ袋の提供 |
| 実施方法 | 市が直接実施＋委託 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|---|--------|--------|--------|-------|
| 総事業費（千円） | 13,888 | 13,632 | 11,621 | 17,512 | |
| 国・県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 一般財源 | 13,888 | 13,632 | 11,621 | 17,512 | |
| 人件費（千円） | 690 | 0 | 0 | | |
| 正(h) ※事業費 | 375 | 0 | 0 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 0 | 0 | 0 | | |
| 総事業費＋人件費 | 14,578 | 13,632 | 11,621 | | |
| 財源「その他」内訳 | 環境パトロール及び不法投棄物回収等業務委託 4,873千円、側溝清掃作業業務委託 3,905千円 等々 | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | 環境パトロール及び不法投棄物回収等業務委託 4,873千円、側溝清掃作業業務委託 3,905千円 等々 | | | | |

3 指標値の状況

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|-----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 産出指標 | 名称 | 環境保全活動（ごみ拾い）参加延人数 | 環境保全活動（ごみ拾い）参加延人数 | 環境保全活動（ごみ拾い）参加延人数 | 環境保全活動（ごみ拾い）参加延人数 | 環境保全活動（ごみ拾い）参加延人数 |
| | 目標 | 5,000人 | 5,000人 | 5,000人 | 5,000人 | 5,000人 |
| | 実績 | 8,611人 | 7,437人 | 7,082人 | | |
| 成果指標 | 名称 | 不法投棄苦情件数 | 不法投棄苦情件数 | 不法投棄苦情件数 | 不法投棄苦情件数 | 不法投棄苦情件数 |
| | 目標 | 100件 | 90件 | 80件 | 80件 | 80件 |
| | 実績 | 109件 | 97件 | 85件 | | |
| | 目標比 | - | - | - | | |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|-----------------------|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ○ | ○ | ○ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 不法投棄による苦情件数は年々減少している。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | |
|----------------------------|--|---------------------------------|
| 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか | ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | ○ |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか | △ |
| | ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | |
| 類似した事業が実施されていないか | ○：類似事業がない ×：類似事業がある | × |
| | 住民等の参画、協働は可能か | 実施 |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | |
| 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | 実施 |
| | 協働または民間への外部化が不可能な理由 | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か | △ |
| 事業費や人件費に削減の余地はないか | ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | |
| | ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | ○ |
| | 受益者負担は事業コストに対して適正か | - |
| 効率性 | ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | |
| | 単位コスト | 算出方法 |
| | 実績 | 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 不法投棄をされやすい所を重点的に環境パトロールをすることにより、不法投棄の件数及び量は減ってきている。 不法投棄を発見した場合、警察と連携することにより、原因者を特定することに努めている。令和元年度は、2件の原因者を特定することができ、原因者にゴミの撤去をさせることに成功している。 住みよい郷土づくり協議会と連携することにより、毎年海岸の清掃パトロールや環境美化活動（ゴミ拾い）を行っている。令和元年度は、地震とコロナウイルスの影響により中止した。 |
|---|

7 事業の方向性（案）

| | |
|------------|---|
| 今後の方向性 | ③ |
| 課題及び改善後の対応 | 不法投棄は自然環境や周辺の景観を損なうだけでなく、将来に渡り地下水汚染や悪臭などの環境問題を発生させる恐れがあり、原状回復には多大な費用がかかる場合がある。また、原因者は市外からの者である可能性もあり、広域的な不法投棄防止対策を継続的に行わなければならない。継続的に県、警察及びボランティア団体等と連携を取りながら不法投棄撲滅に向けた取り組みを実施していく。 |

8 二次評価

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|----|----|---|---|----|---|---|--|----|---|--|--|-----|---|--|--|----|----|----|----|
| 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 所見 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 今後の方向性 | <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table> | 拡充 | ④ | ② | ① | 維持 | ⑤ | ③ | | 縮小 | ⑥ | | | 休廃止 | ⑦ | | | 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 |
| 拡充 | ④ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 維持 | ⑤ | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 縮小 | ⑥ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 休廃止 | ⑦ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コスト投入の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | | | |
|-------|------------------|------|-------|-------|-----------|------------------|------|---|----|-------|
| 事業コード | 420410 | | 担当課 | 市民生活課 | 担当係 | 生活環境係 | | | | |
| 事務事業名 | 環境整備事業（省エネルギー対策） | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 一般会計 | | | |
| 基本政策 | 4 | 生活基盤 | 事業コード | 大 | 42 | 生活環境 | 予算科目 | 款 | 04 | 衛生費 |
| 施策 | 18 | 生活環境 | | 中 | 04 | 環境美化活動の推進 | | 項 | 01 | 保健衛生費 |
| | | | | 小 | 10 | 環境整備事業（不法投棄防止対策） | | 目 | 05 | 環境衛生費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | ○ | 根拠法令 | | | | | | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | 胎内市環境基本条例 | | 関連計画 | 胎内市省エネルギービジョン、胎内市環境基本計画、第2次胎内市地球温暖化防止実行計画 | | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|--|
| 事業の目的・概要 | 省エネルギー対策と推進を図るため胎内市地球温暖化防止実行計画に基づく対策を行う。 |
| 主な実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●省エネルギー対策として ・市民のエネルギーの使い方を省エネ型に変えるべく、情報提供や広報等により、ライフスタイルの改革を促す。 ・省エネ型商品の普及へ啓発活動。 省エネルギー対策とCO2排出削減について、各種の取組を推進するにあたり、市民と事業者が協力して総合的な計画を策定するため、胎内市地域省エネルギービジョンを推進する。 |
| 実施方法 | 市が直接実施 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|---------------|--------|-------|-------|-------|
| 総事業費（千円） | 2,024 | 1,914 | 0 | 0 | |
| 国・県支出金 | 0 | 0 | 0 | | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | | |
| その他 | 0 | 0 | 0 | | |
| 一般財源 | 2,024 | 1,914 | 0 | | |
| 人件費（千円） | 92 | 93 | 0 | | |
| 正(h) ※事業費 | 50 | 50 | 0 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 0 | 0 | 0 | | |
| 総事業費+人件費 | 2,116 | 2,007 | 0 | | |
| 財源「その他」内訳 | 令和元年度より事業はなし。 | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | | | | | |

3 指標値の状況

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 産出指標 | 名称 | 公共施設省エネ取組み施設 | 公共施設省エネ取組み施設 | 公共施設省エネ取組み施設 | 公共施設省エネ取組み施設 | 公共施設省エネ取組み施設 |
| | 目標 | 125施設 | 125施設 | 125施設 | 125施設 | 125施設 |
| | 実績 | 113施設 | 115施設 | 110施設 | | |
| 成果指標 | 名称 | 公共施設年間CO2排出量 | 公共施設年間CO2排出量 | 公共施設年間CO2排出量 | 公共施設年間CO2排出量 | 公共施設年間CO2排出量 |
| | 目標 | 8,700t-CO2 | 8,500t-CO2 | 8,163t-CO2 | 8,080t-CO2 | 7,966t-CO2 |
| | 実績 | 8,907t-CO2 | 8,800t-CO2 | 7,154t-CO2 | | |
| | 目標比 | - | - | - | - | - |

4 達成度

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|-----------------|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ○ | ○ | ◎ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 概算数値であるが達成している。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--------|-------|-------|-------|
| 妥当性 | 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか | △ | | | |
| | ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | | | | |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか | ○ | | | |
| | ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | | | | |
| | 類似した事業が実施されていないか | ○ | | | |
| | ○：類似事業がない ×：類似事業がある | | | | |
| 効率性 | 住民等の参画、協働は可能か | ○ | | | |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | |
| | 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か | △ | | | |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | |
| | 協働または民間への外部化が不可能な理由 | | | | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か | △ | | | |
| ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | | | | | |
| 単位コスト | 事業費や人件費に削減の余地はないか | ○ | | | |
| | ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | | | | |
| | 受益者負担は事業コストに対して適正か | - | | | |
| | ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | | | | |
| 算出方法 | | | | | |
| 実績 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

自然エネルギーの活用による地球温暖化対策を推進し、住宅用太陽光発電の有益性を浸透させることを目的に、平成23年度より住宅用太陽光発電システムの補助を行っていましたが、当初の目的が達成されたことから平成30年度を持って廃止しました。

地球温暖化防止対策の一環として緑のカーテンづくりの環境事業を実施し、高齢者世帯に対しゴーヤ苗を配布し、夏の熱中症対策や省エネに対する関心を高め、市民への環境に対する啓発とともに低炭素社会実現に向けた取組をした。

7 事業の方向性（案）

| | |
|----------------|---|
| 今後の方向性 | ③ |
| 課題及び今後の改善方法の対応 | 引き続き情報発信と広報活動等の現状維持につとめたい。緑のカーテンづくりの事業について実施結果の検証を行い、今後の事業としたい。 |

8 二次評価

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--------|---|----|----|---|---|---|----|---|---|---|---|----|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|--|----|----|----|----|
| 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 所見 | 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 成果の方向性 | <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table> | 拡充 | × | ④ | ② | ① | 維持 | × | ⑤ | ③ | × | 縮小 | × | ⑥ | × | × | 休廃止 | ⑦ | × | × | × | | 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 |
| | 拡充 | × | ④ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | × | ⑤ | ③ | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 縮小 | × | ⑥ | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 休廃止 | ⑦ | × | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コスト投入の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | | | |
|-------|------------------|------|-------|-------|--------------|------------------|------|---|----|-------|
| 事業コード | 420411 | | 担当課 | 市民生活課 | 担当係 | 生活環境係 | | | | |
| 事務事業名 | 一般経費環境衛生（市営船戸霊園） | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 一般会計 | | | |
| 基本政策 | 4 | 生活基盤 | 事業コード | 大 | 42 | 生活環境 | 予算科目 | | | |
| 施策 | 18 | 生活環境 | | 中 | 04 | 環境美化活動の推進 | | 款 | 04 | 衛生費 |
| | | | | 小 | 11 | 一般経費環境衛生（市営船戸霊園） | | 項 | 01 | 保健衛生費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | 〇 | 根拠法令 | 墓地、埋葬等に関する法律 | | | | | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | 胎内市霊園条例 | | 関連計画 | | | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・概要 | 市営船戸霊園の維持管理及び使用の届出、許可事務及び使用料徴収事務を行う。 |
| 主な実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●船戸霊園内維持管理業務 年1回の草刈、定期的にパトロールを行った。 ●墓地使用許可業務 令和元年度は8件の申請があった。 ●使用料及び管理料の徴収業務 令和元年度は使用料1,401千円と墓地管理料59千円の徴収を行った。 |
| 実施方法 | 市が直接実施 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|-----------------|--------|------------|-------|-------|
| 総事業費（千円） | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 国・県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 一般財源 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 人件費（千円） | 552 | 557 | 570 | | |
| 正(h) ※事業費 | 300 | 300 | 300 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 0 | 0 | 0 | | |
| 総事業費+人件費 | 552 | 557 | 570 | | |
| 財源「その他」内訳 | 共同墓地使用料 1,401千円 | | 墓地管理料 59千円 | | |
| 事業費の主な支出内容 | | | | | |

3 指標値の状況

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 産出指標 | 名称 | 市営船戸霊園墓地設置数 | 市営船戸霊園墓地設置数 | 市営船戸霊園墓地設置数 | 市営船戸霊園墓地設置数 | 市営船戸霊園墓地設置数 |
| | 目標 | 256区画 | 256区画 | 256区画 | 256区画 | 256区画 |
| | 実績 | 256区画 | 256区画 | 256区画 | | |
| 成果指標 | 名称 | 船戸霊園利用率 | 船戸霊園利用率 | 船戸霊園利用許可率 | 船戸霊園利用許可率 | 船戸霊園利用許可率 |
| | 目標 | 70% | 75% | 82% | 87% | 93% |
| | 実績 | 74.60% | 76.50% | 81.6% | | |
| | 目標比 | 106.6% | 102.0% | 99.5% | 0.0% | 0.0% |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|------------------------|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ◎ | ○ | ○ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 船戸霊園利用率の目標数値は、概ね達成できた。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | | | | |
|-------|---|--------|-------|-------|-------|
| 妥当性 | 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | ○ | | | |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | ○ | | | |
| | 類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある | ○ | | | |
| | 住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | × | | | |
| 効率性 | 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | △ | | | |
| | 協働または民間への外部化が不可能な理由 | | | | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | △ | | | |
| | 事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | ○ | | | |
| 単位コスト | 受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | ○ | | | |
| | 算出方法 | | | | |
| 実績 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
| | | | | | |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

毎年管理料を納付書で徴収しているが、口座引き落としにしてほしいとの要望が多いことから、口座引き落としとする準備を進め、令和3年度より開始予定である。

7 事業の方向性（案）

| | |
|-----------|---|
| 今後の方向性 | ③ |
| 課題及び今後の対応 | <p>船戸霊園の使用許可者全員から管理料を徴収することとした。このことを踏まえて、霊園の維持管理については、今まで以上に管理を徹底し利用者の利便性向上を図っていく。</p> <p>管理料の徴収方法については、これまでは納付書での自主納付から、口座引き落としの徴収方法に変更する。</p> |

8 二次評価

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--------|---|----|----|---|---|---|----|---|---|---|---|----|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|--|----|----|----|----|
| 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 所見 | 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 成果の方向性 | <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table> | 拡充 | × | ④ | ② | ① | 維持 | × | ⑤ | ③ | × | 縮小 | × | ⑥ | × | × | 休廃止 | ⑦ | × | × | × | | 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 |
| | 拡充 | × | ④ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | × | ⑤ | ③ | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 縮小 | × | ⑥ | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 休廃止 | ⑦ | × | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コスト投入の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------|------|-------|-------|------------------------|------------------|------|------|----|-------|
| 事業コード | 420411 | | 担当課 | 市民生活課 | 担当係 | 生活環境係 | | | | |
| 事務事業名 | 一般経費環境衛生（狂犬病予防） | | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 一般会計 | | |
| 基本政策 | 4 | 生活基盤 | 事業コード | 大 | 42 | 生活環境 | 予算科目 | 款 | 04 | 衛生費 |
| 施策 | 18 | 生活環境 | | 中 | 04 | 環境美化活動の推進 | | 項 | 01 | 保健衛生費 |
| | | | | 小 | 11 | 一般経費環境衛生（市営船戸霊園） | | 目 | 05 | 環境衛生費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | ○ | 根拠法令 | 狂犬病予防法・動物の愛護及び管理に関する法律 | | | | | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | | 関連計画 | | | | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・概要 | 生活環境の保持を図るため、狂犬病予防注射・犬・猫の引取りを実施する。 狂犬病予防については、狂犬病の発生を防ぎそのまん延を防止し、及びこれを撲滅することにより公衆衛生の向上及び公共の環境衛生の保持を図る。 |
| 主な実施内容 | 狂犬病予防集合注射 ・登録されている飼い主に集合予防注射の日程等をハガキや市報で周知し、集合注射会場で接種する。 犬猫の引き取り ・迷ったり捨てられた犬・猫を下越動物保護管理センターまで送致して、抑留したことを公示する。 |
| 実施方法 | 市が直接実施+委託 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|--|--------|-------|-------|-------|
| 総事業費（千円） | 218 | 218 | 218 | 242 | |
| 国・県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 218 | 218 | 218 | 242 | |
| 一般財源 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 人件費（千円） | 460 | 464 | 475 | | |
| 正(h) ※事業費 | 250 | 250 | 250 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 0 | 0 | 0 | | |
| 総事業費+人件費 | 678 | 682 | 693 | | |
| 財源「その他」内訳 | 畜犬登録手数料 759千円 事務費負担金 16千円 | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | 後納郵便料（通知ハガキ） 91千円 狂犬病予防関係事務委託料 49千円 畜犬登録管理システム賃借料 78千円 | | | | |

3 指標値の状況

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 産出指標 | 名称 | 犬の登録頭数 | 犬の登録頭数 | 犬の登録頭数 | 犬の登録頭数 | 犬の登録頭数 |
| | 目標 | 1,360頭 | 1,300頭 | 1,200頭 | 1,200頭 | 1,200頭 |
| | 実績 | 1,234頭 | 1,180頭 | 1,132頭 | | |
| 成果指標 | 名称 | 狂犬病予防接種率 | 狂犬病予防接種率 | 狂犬病予防接種率 | 狂犬病予防接種率 | 狂犬病予防接種率 |
| | 目標 | 93% | 95% | 95% | 95% | 95% |
| | 実績 | 93% | 92% | 91.7% | | |
| | 目標比 | 100.0% | 96.8% | 96.5% | | |
| | | | | | | |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|--|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ◎ | ○ | ○ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 予防注射未接種の飼い主に対して電話や督促ハガキ等で通知し、接種を促したことにより概ね達成できた。 接種率が上がらない要因の一つは、犬の高齢化が進み、注射猶予頭数が増えたことによると思われる。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | | | | |
|-------|---|--------|-------|-------|-------|
| 妥当性 | 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | ○ | | | |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | ○ | | | |
| | 類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある | ○ | | | |
| | 住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | × | | | |
| 効率性 | 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | △ | | | |
| | 協働または民間への外部化が不可能な理由 | | | | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | ○ | | | |
| | 事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | ○ | | | |
| 単位コスト | 受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | ○ | | | |
| | 算出方法 | | | | |
| 実績 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
| | | | | | |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

| |
|--|
| 予防注射未接種の飼い主に対して、犬の死亡確認や督促ハガキ等の通知をして、登録台帳を整理した。 |
|--|

7 事業の方向性（案）

| | |
|--|--|
| 今後の方向性 | ③ |
| 課題 改及 改今 善後 方 法 対 応 | 狂犬病予防注射により、狂犬病の発生を防ぎそのまん延を防止し及び撲滅を図っているが、理由なき未接種の畜犬が存在していることから、督促ハガキ等により接種率の向上を図る。狂犬病予防注射を受けることの必要性を感じていない飼い主がいることから、法制度及び狂犬病予防注射の必要性について周知していく。 接種率の低下については、登録犬の死亡の未届出や予防接種猶予の未連絡が原因と考えられるため、未接種犬の飼い主との連絡を行い、登録台帳の整理等を確実の実施していく。 |

8 二次評価

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--------|---|----|----|---|---|---|----|---|---|---|---|----|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|--|----|----|----|----|
| 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 所見 | 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 成果の方向性 | <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table> | 拡充 | × | ④ | ② | ① | 維持 | × | ⑤ | ③ | × | 縮小 | × | ⑥ | × | × | 休廃止 | ⑦ | × | × | × | | 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 |
| | 拡充 | × | ④ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | × | ⑤ | ③ | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 縮小 | × | ⑥ | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 休廃止 | ⑦ | × | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コスト投入の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |